



■活力ある農業・茶業の推進

・茶生産経営体育成推進事業費 【419万5千円】
 茶業の推進のため、令和6年度は「菊川茶」の海外に向けた出口戦略を進めていきます。令和5年度、佐川急便株式会社と全国自治体初となる地場産品の販路拡大に向けた「海外輸出戦略」に関する連携協定を締結しました。この協定締結により、アリババ株式会社が運営し、世界190以上の国や地域に会員のバイヤーがいるネット販売サイト内に作成する菊川茶の専用ページを通じて、海外バイヤーとの商談が可能となりました。併せて、茶生産者などが協定に基づく海外への商品サンプルの提供や海外イベントに出品する際の輸送経費の一部を補助する補助金を新たに創設し、効果的な出口戦略を講じることで新たな販路を海外に見出し、「菊川茶」の輸出を推進していきます。



■学校教育の充実

・小中一貫・連携教育推進費 【759万5千円】
 小中一貫教育「学びの庭」構想の推進として、令和6年度は学舎全てにコミュニティ・スクールを導入することで、保護者や地域の人たちが学校とともに主体的に学校運営に参画していただき、学校と地域がパートナーシップのもと一体となって特色ある学校づくりを進め周知していきます。



■商工業の支援と推進

・創業・事業承継等支援事業費 【1,882万4千円】
 ・創業支援センター管理費 【706万6千円】
 3月に開設した産業支援センターE n G A W Aでは、事業者の事業承継、創業、経営強化に対する相談機能を設けるとともに併設するコワーキングスペースに集まる人やビジネスの「縁」をつなぎイノベーションを創出することで、商工業のみならず農業も含めたさまざまな事業者の課題解決を目指していきます。
 また、新たにビジネスコンテストを開催し、全国の事業者が本市の地域資源を活用した市内には無いような事業を提案するなかで地域課題の解決を目指すとともに、コンテストに参加した事業者が円滑に事業化を進められるよう連携を図っていきます。



■生涯学習の推進と歴史文化の周知・活用

・文化財保護費 【442万5千円】
 横地氏城館遺跡の保存・活用を図るため、山城地区における園路整備を進めていきます。また、国指定文化財の応声教院山門については保存修理や耐震補強を進めている管理者への支援を行ってまいります。さらに、菊川市の歴史をより多くの市民に知ってもらい、楽しく郷土を学んでいただくために菊川市歴史検定を実施します。



【基本方針3】幸せを生み出すまち

■健康増進および地域包括ケアシステムの深化・推進

・在宅医療・介護連携推進事業（介護保険特別会計） 【431万6千円】
 市内の医療機関や介護保険事業所などが連携し、切れ目のない在宅医療・在宅介護を提供する体制の構築や、病気や突然の事故に見舞われた時に、どのような医療やケアを望んでいるかについて、前もって自ら考え、大切な人や家族と話し合っておくツールとして作成した菊川市版人生会議ノート「私のこれからノート」について、出前行政講座の開催などにより、普及を図っていきます。

自分の思いを届けよう
私のこれからノート
 ～どんなときも自分らしく生きるために～

菊川市版人生会議ノート
 【心算るかに 頼るまでもの人らしく 過ごすことができます】
 これを推進するためのキーワード
せきがわ あ・い・わ・え・お

- あんん：（どんなときも安心して暮らすために）
- せきがわ：（自分だけでなく家族や地域を巻き込めるために）
- あ・い・わ：（自分自身の思いや考えを伝え合えるために）
- え・お：（みんなの思い（しむやむ）が伝わるために）
- おだやか：（誰もが安心して暮らすために）

■子育て環境の整備

・子ども・子育て支援事業費 【437万9千円】
 市町村への設置が努力義務化された「こども家庭センター」を令和6年度に設置し、全ての妊産婦・子育て世帯・子どもへの一体的に切れ目のない相談支援を行います。
 ・幼保施設整備事業費 【7億8,235万4千円】
 小笠北幼稚園については、令和7年4月の認定こども園開園に向け、建築工事を進めていきます。開園する新園では、未就園の子育て家庭を対象とした遊び場の提供、相談支援体制を展開していくほか、地域における子育て支援施設のネットワークとしての役割を担うよう、開設準備を進めていきます。

